Tetra*test*

テトラテスト
取扱説明書

アンモニア NH_3/NH_4^+ 試薬
（淡水・海水用）

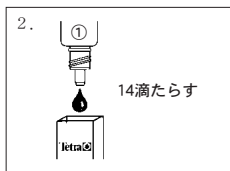
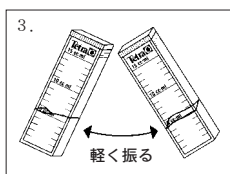
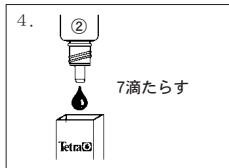
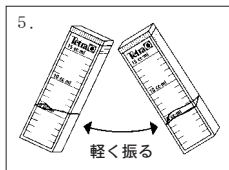
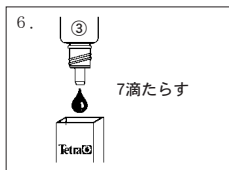
淡水・海水中の総アンモニア量の正確な測定のために

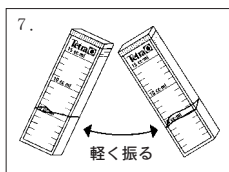
どうして水質試験が必要なのですか？

水槽の水の中には魚の排泄物や食べ残し、腐敗した藻などに含まれる有機窒素化合物があります。これらはフィルター内のろ材に繁殖する従属栄養細菌によって有毒なアンモニアに分解され、亜硝酸を経て最終的には比較的毒性の弱い硝酸塩になります。窒素化合物は有害な成分であり、生物ろ過が適切に機能していないとpH値7以上となり、有害なアンモニア(NH_3)が生じます。pH値7以下であれば、無害のアンモニウムイオン(NH_4^+)として存在します。総アンモニア濃度(NH_3・NH_4^+)が0.25mg/ℓを越えた状態で長期間飼育すると、魚に対して有害であり、生物ろ過が十分に機能していない事を示します。

テスト方法：

1. テストする水槽水で試験管をすすいだ後、水槽水を試験管の5-mℓ(cc)マークまで入れます。
   (重要)：テストする水槽水の温度は20℃〜30℃の範囲でなくてはいけません。

2. 試薬①液を逆さにして持ち、試験管に14滴入れます。

3. 試験管のフタを閉め、軽く振ります。

4. 試薬②液を逆さにして持ち、試験管に7滴入れます。

5. 試験管を軽く振ります。

6. 試薬③液を逆さにして持ち、試験管に7滴入れます。

7. 試験管を軽く振ります。
8. 発色まで室温で20分ほど放置します。
9. 試験管と比色紙を垂直に持ち、テスト溶液の色と比色紙上の最も近い色を合わせます。一致する色の値を読みます。

テストの後、毎回試験管を水道水でよくすすいで下さい。

測定値と評価：

0mg/ℓ：　理想的な条件です。
0.25mg/ℓ：長期的には有害です。
1.5mg/ℓ：全ての生物に非常に有害です。
3mg/ℓ：　環境に敏感な生物には致命的です。
5mg/ℓ：　全ての生物に致命的です。

あなたの水槽のアンモニアレベルが高すぎたら？

●水の部分替えを行いましょう。取り替える水は、必ずテトラ コントラコロライン とテトラ アクアセイフで調整し、塩素や重金属を中和しましょう。

●フィルターのろ材を水槽の水で(ろ材に繁殖するバクテリアを死滅させないようにするため)洗いましょう。定期的なお手入れが、ろ材の汚れや目詰まりを防ぎます。

●水槽のpH値を測定しましょう。アンモニアは、pH値が7を越えると、毒性が増加します。淡水の水槽でpH値7.5以上となったら、CO_2濃度を上げ、pHを下げる必要があります。

水質管理のヒント：

●定期的に水の部分替えを行いましょう。水替え用の水は必ずテトラ コントラコロラインとテトラ アクアセイフで調整し、塩素や重金属を中和しましょう。

●定期的にフィルターを洗浄しましょう。残り餌や魚のフンは、水槽水の汚染の主な原因です。テトラ チムを入れましょう。テトラ チムはアンモニアや亜硝酸のような水槽中の汚染物質を分解するバクテリアがろ材に繁殖するのを助けます。

●餌やりは1日3回〜4回まで可能ですが、魚が2分〜3分で食べ尽くす量以上は与えないようにしましょう。テトラフードのご使用をお勧めします。テトラフードは、水を汚さないように作られています。

●ショップにたずねて、水槽の大きさや設備に合った魚のサイズや数をアドバイスしてもらいましょう。

⚠ 注意

●乳幼児の手の届くところに置かないで下さい。

●皮フについた場合はすぐに水で充分洗い流して下さい。

●目に入った時は、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。

●万一誤飲した場合すぐに水を飲み医師にご相談下さい。

輸入発売元：テトラ ジャパン株式会社
〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル
製造元：ドイツ テトラ社
お問い合わせ ☎03-3794-9977

The Heart and Mind of Waterlife

テトラ ホームページアドレス www.tetra-jp.com